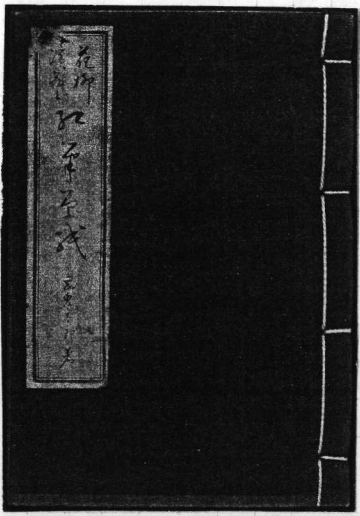


岡鬼太郎 おにたろう 劇評家、小説家、劇作家。明治五年八月一日東京生まれ。昭和十八年十月二十九日歿（八七—一九四二）。本名嘉太郎。別號双角魔王、泣花、無名氏、鬼吟等。明治二十五年慶應義塾卒。翌年「時事新報」入社、二十八年「報知新聞」に轉じ辛辣な劇評で鬼太郎の名を馳せる。その後松竹合名會社、明治座等々顧問を務め、花柳小説、戯曲を書いた。洋書家岡鹿之助はその長男。

著書、海賀變哲編『新小説辭典』（龍頭「演劇用語」執筆、明治四十二年五月）、千四日博文館）、『花柳春詠合二味線』（第二版、明治四十五年六月十五日辰文館）、『花柳演藝紅筆』

草紙』（大正二年一月）、千台鈴木書店）、『ありま唄』（大正七年四月一日南人社）、『世話狂言集』（大正十年十一月十日好文社）、『世話時代狂言集』（大正十一年八月二十日京文社）、『鬼太郎脚本集』（第一卷、大正十五年五月五日、第一卷、六月十八日京文社）、『文壇の漫談・思ひもよらぬ話』（合著、本間晴編、昭和五年六月二十日自由中書房。『吉右衛門とことんだ兄さん』所収）、『鬼言冗語』（昭和十年四月二十日岡倉書房）、『歌舞役眼鏡』（昭和十八年二月二十五日新大衆社）、『歌舞



年四月二十日岡倉

書房）、『歌舞役

眼鏡』（昭和十八

年二月二十五日新大衆社）、『歌舞



伎と文楽』(昭和十八年五月一日三田文學會出版部)、岡鬼太郎集』

(昭和十八年五月二十日建設社「昭和演劇新書」)等。